

会 議 結 果

次の会議を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会 都市公園部会（第2回面接審査）		
開催日時	平成26年5月9日（金） 9：45～16：30		
開催場所	波止場会館 4階 大会議室		
（役職名） 出席者	金子 忠一 委員（委員長）、加藤 真司 委員（副委員長）、 飯島 健太郎 委員、若木 一美 委員、岡本 由美子 委員		
次回開催予定日	－		
問い合わせ先	都市公園課 本多 電話番号 045-210-6221 フォームメール（神奈川県のホームページから問い合わせフォームが御利用いただけます。） http://www.pref.kanagawa.jp/div/0717/		
下欄に掲載するもの	議事録要約	要約とした理由	選定審査を行ったため
会議経過	<p>1 開会</p> <p>(1)会議の成立 委員総数5名のうち、5名全員の委員が出席しており、委員会の設置要綱第5条第3項の規定に基づき、定足数（2分の1以上の出席）に達しているため、会議は有効に成立していることを報告した。</p> <p>(2)審議案件、審査・評価の方法等の確認 本日の審査案件については、七沢森林公園、四季の森公園、座間谷戸山公園、津久井湖城山公園及び茅ヶ崎里山公園、あいかわ公園、相模三川公園、おだわら諏訪の原公園及び境川遊水地公園とすること、また、公園ごとに、申請のあった順番で（申請者ごとに）5分間のプレゼンテーションとヒアリングを実施した上で、事前に実施した各委員の採点結果をもとに選定評価を行うことを確認した。</p> <p>(3)会議の公開 5月8日開催の同委員会において、議事録については、要約したものを公開すること、選定審査のうち、提案に係るプレゼンテーションとヒアリングについては、公開として傍聴を認め、選定評価を行う協議については、非公開として傍聴を認めないことを決定している。</p> <p>2 面接審査</p> <p>(1)七沢森林公園 ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。 ア（公財）神奈川県公園協会 イ 書類審査（各委員の採点を含む。）の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。 <委員> ・「資源循環型の維持管理」や「ヤマビル等有害生物対策」など、当公園の自然特性を十分に理解した提案がなされている。 ・「ボランティアによるモニタリング」や「森林セラピープログラム（未病対策）」など、新たな取組が見られる。 ・周辺観光施設（温泉など）と連携した利用促進など、地域と連携し、地域振興を念頭に置いた提案がされており、全体として優れた提案内容となっている。</p>		

<p>会 議 経 過</p>	<p><委員長> 委員会としての評価点を 83 点として、この団体を指定管理者候補とする。</p> <p>(2)四季の森公園 ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。 ア) (公財) 神奈川県公園協会 イ) 四季の森公園パートナーズ ウ) アメニス四季の森グループ イ 書類審査 (各委員の採点を含む。) の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。</p> <p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季の森公園パートナーズの提案は、「活動して楽しむ里山づくり」を管理運営方針とし、現指定管理者として、連続性のある中長期的な管理運営コンセプトが提案されている。樹木の保全や生態系に配慮した植物管理を行うとし、修景木で重要な樹木(高木)について、5年間の「管理目標樹形」を設定して管理するなどきめ細かい提案がなされており評価できる。また、「活動して楽しむ里山」を具現化する「四季守マスター塾」など新たな取組も見られ、サービスの向上などの面で、他の提案者と比べ優れた内容となっており、選定基準による採点の結果、第1順位の評価点となった。 ・(公財)神奈川県公園協会の提案は、樹林地を4つの特性に区分し管理目標を定めるなど、当該公園の特性を良く理解した管理の提案がなされている。また、「プレイリーダーの配置」や「森の遊び体験(フォレストアドベンチャー)」など新たな取組みも見られ意欲的であるが、サービスの向上の面で第1順位の提案者よりやや低く、選定基準による採点の結果、第2順位の評価点となった。 ・アメニス四季の森グループの提案は、当公園の「里山における環境教育の場」としての側面に焦点を当て、「子供達の科学研究顕彰制度の創設」など、様々な企画が提案されている。また、大規模災害対応として、「震災後の被害状況に応じた復旧計画提言書の作成と県への報告」など東日本大震災の実体験に基づく意欲的な提案が見られ評価出来る。全般的に、高い評価であるが、里山の理念に特化した感があり、施設の適切な維持管理や多様な利用の促進などサービスの向上の面で、他の提案者よりも評価が低く、選定基準による採点の結果、第3順位の評価点となった。 <p><委員長> 委員会としての評価点は、四季の森公園パートナーズを 90 点として第1順位、(公財) 神奈川県公園協会を 84 点として第2順位、アメニス四季の森グループを 83 点として第3順位としたため、四季の森公園パートナーズを指定管理者候補とする。</p> <p>(3)座間谷戸山公園 ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。 ア) (公財) 神奈川県公園協会 イ 書類審査 (各委員の採点を含む。) の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。</p> <p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「樹木のタイプに応じた維持管理」、「林床植物に配慮した維持管理」や「生物多様性に配慮した環境管理」など、当公園の特性を十分理解した提案がなされている。 ・「ノルディックウォーキング」や「ウォーキングポストの設置」など、新たな取組みが見られる。 ・当公園の特性として、ノルディックウォーキングなどのスポーツ的利用と静寂性を要する自然観察(野鳥観察)とのバランスに配慮して管理
----------------	--

<p>会議経過</p>	<p>運営を進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 10%増を目標としている。公園の特性を考慮し、オーバーユースとならないよう留意が必要であるものの、全体として優れた提案内容となっている。 <p><委員長> 委員会としての評価点を 66 点として、この団体を指定管理者候補とする。</p> <p>(4)津久井湖城山公園</p> <p>ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。</p> <p>(ア) (公財) 神奈川県公園協会</p> <p>イ 書類審査（各委員の採点を含む。）の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。</p> <p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しろやまオープンミュージアム」など、当公園の歴史、自然資産を最大限に生かす取組みの提案がなされている。 ・「城山ガイドボランティア」や「津久井ふるさと塾」など、新たな取組みが見られ意欲的である。 ・花の苑地、水の苑地等ゾーンについて、各ゾーンの特性に応じた利用促進策の提案がなされており、全体として優れた提案内容となっている。 <p><委員長> 委員会としての評価点を 69 点として、この団体を指定管理者候補とする。</p> <p>(5)茅ヶ崎里山公園</p> <p>ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。</p> <p>(ア) (公財) 神奈川県公園協会</p> <p>イ 書類審査（各委員の採点を含む。）の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。</p> <p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「畑の村の景観演出」や「ボランティアとの協働による里山管理」など、当公園の特性を十分に理解した提案がなされている。 ・「地元食材を使った地産地消型バーベキューの提供」や「園内シャトルバスの運行」など、新たな取組みが見られる。 ・間伐材のチップ化による暖房用燃料としての活用やバーベキューでの薪の活用等、「資源循環型管理」とその「見える化」が提案されている。当公園の特性をいかした資源の有効活用が図られており、全体として優れた提案内容となっている。 <p><委員長> 委員会としての評価点を 80 点として、この団体を指定管理者候補とする。</p> <p>(6)あいかわ公園</p> <p>ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。</p> <p>(ア) (公財) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団</p> <p>イ 書類審査（各委員の採点を含む。）の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。</p> <p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園を宮ヶ瀬湖周辺の一拠点と位置づけ、利用促進における様々なソフト事業の展開や広域的な集客努力など、意欲的かつ工夫した提案が多く見られる。 ・地域連携や大規模災害への対応などでは、当該地域に精通した当財団の特徴を生かし、様々な地域関連団体、施設等との協力、連携が提案されている。 ・地域密着型の組織として、地域との様々な連携を模索した提案がなされており、全体として優れた提案内容となっている。
-------------	---

<p>会 議 経 過</p>	<p><委員長> 委員会としての評価点を78点として、この団体を指定管理者候補とする。</p> <p>(7)相模三川公園 ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。 ア (公財)神奈川県公園協会 イ アメニス相模三川グループ イ 書類審査(各委員の採点を含む。)の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。</p> <p><委員> ・アメニス相模三川グループの提案は、5年間を通じた「花いっぱい空間作り」を徹底して提案するなど、様々な利用促進策を多く打ち出している。また、ライフサイクルコストの観点から、小破修繕や応急処置を実施するなど、施設の長寿命化の視点を持ち施設の維持管理を行うなど、優れた提案がなされている。利用促進においても優れた提案があるとともに、管理経費の節減等の努力も十分になされており、選定基準による採点の結果、第1順位の評価となった。 ・(公財)神奈川県公園協会の提案は、「未病を治す神奈川宣言」への賛同など、県の施策に対応した提案が多く見られるとともに、「カラダグ保全活動への協力」など、当該公園の特性を良く理解した管理の提案がなされている。また、降水時以外でも、河川の安全対策へ配慮し、利用者にも洪水や水防に関する知識普及、意識啓発に取り組む提案がなされており、高く評価できるが、選定基準による採点の結果、第2順位の評価点となった。</p> <p><委員長> 委員会としての評価点は、アメニス相模三川グループを90点として第1順位、(公財)神奈川県公園協会を85点として第2順位としたため、アメニス相模三川グループを指定管理者候補とする。</p> <p>(8)おだわら諏訪の原公園 ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。 ア (公財)神奈川県公園協会 イ おだわら諏訪の原公園パートナーズ ウ 緑栄造園・日比谷アメニス共同事業体 イ 書類審査(各委員の採点を含む。)の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。</p> <p><委員> ・おだわら諏訪の原公園パートナーズの提案は、施設の維持管理において、ゾーン別の特性と課題に対する維持管理の考え方が整理され、当公園の特性を踏まえた維持管理が期待できる。また、利用促進の取組に関しては、「健康づくりウォーキング」など、多彩な提案がなされており、特に構成企業の運営による、「バス停留所の新規設置」や「電車・バス広告ジャック」など提案者(構成企業)の強みを活かした提案が見られ、他の提案者より優れている。隣接する小田原市フラワーガーデンの指定管理者(指定期間 H23年4月～H28年3月)であることから、同施設との一体的管理運営による、効果的効率的な利用促進、地域づくりも期待でき、経費の節減の取組も十分になされていることから、選定基準による採点の結果、第1順位の評価点となった。 ・緑栄造園・日比谷アメニス共同事業体の提案は、園内のどんぐりから育成した苗木を活用し、要望の多い緑陰の確保を行う「どんぐりの森プロジェクト」や、かつて周辺に多く自生していたといわれる「ヤマユリの再生」など、当公園の特性を良く理解した管理の提案がなされている。「地域連携専門スタッフの配置」や「パークサポーター育成5年計画の策定と実行」など、地域連携に関する新しいアプローチ手法も提案されており、優れた</p>
----------------	--

<p>会議経過</p>	<p>提案内容である。現指定管理者としての評価も高いが、選定基準による採点の結果、第2順位の評価点となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)神奈川県公園協会の提案は、施設の維持管理において、ゾーンごとの特徴を踏まえた植物管理の提案を行うなど、当該公園の特性を良く理解した提案がなされている。また、「ヤギの草刈り隊」による斜面地の草地管理や「見晴らしバーベキューの開設」など新たな取組も見られる。「カロリーウォーキングマップの作成」やパークセンターへの「健康測定コーナー」の設置など、「未病を直すかながわ宣言」へ賛同し、公園を利用した健康づくりを促進するとしている。全体として良好な提案内容であるが、選定基準による採点の結果、第3順位の評価点となった。 <p><委員長></p> <p>委員会としての評価点は、おだわら諏訪の原公園パートナーズを90点として第1順位、緑栄造園・日比谷アメニス共同事業体を88点として第2順位、(公財)神奈川県公園協会を79点として第3順位としたため、おだわら諏訪の原公園パートナーズを指定管理者候補とする。</p> <p>(9)境川遊水地公園</p> <p>ア 次の順番でプレゼンテーションとヒアリングを実施した。</p> <p>(ア) (公財) 神奈川県公園協会</p> <p>イ 書類審査(各委員の採点を含む。)の結果をもとに委員が協議し、委員会としての選定評価を行った。</p> <p><委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ビオトープを中心とした植物管理」や「越流後の利用への影響を最小限にとどめるスポーツ施設の管理」など、当該公園の特性を良く理解した管理の提案がなされている。 ・自然観察、河川環境学習など利用促進の取組も数多く提案されている。 ・大雨・洪水注意報(警報)及び水防警報時における利用制限や避難誘導など、遊水地としての適切な対応も十分理解しており、全体として優れた提案内容となっている。 <p><委員長></p> <p>委員会としての評価点を77点として、この団体を指定管理者候補とする。</p> <p>3 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------------	---